

内視鏡外科手術における AI 自動技術評価システムの構築に関する研究

1. 研究の対象

- 2016年度－2024年度日本内視鏡外科学会 (JSES) 技術認定制度の審査のために日本内視鏡外科学会へ手術動画を提出された申請者のうち、申請臓器 大腸もしくは胃、もしくは胆嚢を選択された方
対象症例期間：2013年4月1日から2024年12月31日 未成年者を除く。

2. 研究目的・方法

研究の目的

本研究の目的は、内視鏡外科手術における、技術評価の客観的指標を構築することです。多施設の腹腔鏡手術の手術動画を用いて、人工知能 (Artificial Intelligence: 以下 AI) による要素技術を導入することにより、客観的な評価指標の構築を目指します。客観的な技術評価システムを構築することで、技術評価によるフィードバックは外科医の技能向上や指導医育成に寄与し、AI による技術評価の自動化は、評価者の負担を軽減すると考えております。

研究の方法

国立がん研究センター東病院の研究課題番号 2017-419：「次世代医療機器開発へ向けた内視鏡外科手術における暗黙知のデータベース構築」および研究課題番号：2019-230「内視鏡外科手術の多施設データベース構築」にて収集した手術動画のうち日本内視鏡外科学会技術認定審査動画を除いた 3172 例および、2022 - 062「内視鏡外科手術動画等を用いた多施設データベースの構築及び利活用」にて収集した 1600 例、2016-2024 年度 日本内視鏡外科学会技術認定審査申請症例のうち約 5220 例 (大腸 2970 例、胃 1710 例、胆嚢 540 例) の申請動画および審査結果を用います。上記の手術動画を用いて、本研究の研究課題番号 2020-329「内視鏡外科手術における AI 自動技術評価システムの構築」で構築した AI モデルを多術式において活用することができるか検証を行います。また AI による手術画像認識モデルを開発し、技能評価パラメータのアルゴリズムを構築します。構築されたアルゴリズムにて申請動画を解析します。この解析結果と JSES 審査結果を比較することで、AI 自動技術評価のシステムを構築します。その後は、JSES 審査における評価サポートシステムとしての利活用や、外科医への客観的データに基づいたフィードバックシステム等、様々な活用を考えております。

総研究期間

研究許可日から 2028 年 3 月 31 日

3. 研究に用いる情報の種類

収集項目は以下のとおりです。

- ① JSES 審査申請手術動画
- ② JSES 審査結果(共通基準採点表の Category 各項目の点数、合計点および臓器別評価項目の各項目点数、合計点、審査員コメントなど)
- ③ 術者情報
- ④ 患者ならびに手術データ：術式、年齢、身長、体重、診断、病期、既往歴、手術時間、出血量、術中合併症、術後合併症、術後在院日数など

4. 外部への情報の提供

共同研究施設間でのデータの提供は、クラウド上からのダウンロードまたは外付けハードディスクを郵送もしくは手渡しにて送付します。外付けハードディスクにはパスワードをかけて特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。個人が特定できないようにすべての症例に対して研究用附番号を付けて、研究は研究用附番号を用いて行います。その対応表の管理は以下の通りです。2017-419 および 2019-230 の二次利用症例に関しては、2017-419・2019-230 の研究責任者が保管・管理します。JSES 審査の二次利用に関しては、JSES 審査申請施設は研究対象者に申請番号を付してすべて匿名化して申請しております。日本内視鏡外科学会は申請番号に、新たな審査番号を付して対応表を作成してすべて匿名化を行い保管・管理します。当センターにて新たな研究用附番号を付した対応表は、当センターの研究代表者が管理します。

5. 研究組織

研究代表者/責任者

国立がん研究センター東病院	大腸外科 NEXT 医療機器開発センター 医療機器開発推進部門 (株式会社 Jmees 取締役)	伊藤 雅昭	研究統括とデータ拡充 自動技術評価のための 評価項目の検討 AI 自動技術評価システムの構築
---------------	---	-------	---

研究事務局

国立がん研究センター東病院	大腸外科 NEXT 医療機器開発センター 医療機器開発推進部門	竹下 修由	事務局
---------------	---------------------------------------	-------	-----

内視鏡外科手術における AI 自動技術評価システムの構築

(株式会社 Jmees 取締役)

研究者

国立がん研究センター東病院 婦人科 NEXT 医療機器開発センター 医療機器開発推進部門 竹中 慎 AI 自動技術評価システムの構築

国立がん研究センター東病院 データサイエンス部 三角 俊 統計解析
裕

共同研究施設・施設責任者

役割

虎の門病院 消化器外科 黒柳 洋 学会連携の構築・データ収集
弥 (2023/3/31 終了)

大分大学 消化器・小児外科学講座 猪股 雅 学会連携の構築・データ収集
史

北海道大学 医療・ヘルスサイエンス研究開発機構 渡邊 祐 自動技術評価のための
介 評価項目の検討

東京大学 産婦人科 平池 修 学会連携の構築・データ
収集

千葉大学 泌尿器科 坂本 信 学会連携の構築・データ
一 収集 AI 自動技術評価シ
ステムの構築

既存情報の提供のみを行う機関

役割

日本内視鏡外科学会 理事長 坂井 義 データ提供
治

※ 株式会社 Jmees は国立がん研究センター発ベンチャー

6. 研究に係る資金と利益相反に関する状況

国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED) から研究費を受け委託された研究です。

事業名：メディカルアーツ研究事業 (2020 年度から 2022 年度)

研究課題名：内視鏡外科手術における AI 自動技術評価システムの開発

(研究課題番号：20vk0124001h0001)

研究代表者：国立がん研究センター東病院 大腸外科 伊藤 雅昭

内視鏡外科手術における AI 自動技術評価システムの構築

事業名：メディカルアーツ研究事業（2023 年度から 2025 年度）

研究課題名：多領域の術式に応用可能な AI 手術技能評価システムの研究開発（研究課

題番号：23vk0124007h0001）

研究代表者：

国立がん研究センター東病院 大腸外科 伊藤 雅昭

利益相反；本研究は特定の団体からの資金提供は受けておらず、研究組織全体に関して起こりうる利益相反はありません。なお、国立がん研究センターの研究者の利益相反の管理は、国立がん研究センター利益相反委員会により実施されています。本研究の参加施設での研究者の利益相反については、参加施設の規定に従い各施設で厳重に管理します。

国立がん研究センター発ベンチャー株式会社 Jmees の役員の身分を持つ研究者（伊藤雅昭，竹下 修由）が研究に関わっていますが、本研究には株式会社 Jmees は関わらず成果も共有されません。

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。それ以降の利用は停止しますが、すでに利用されているデータは削除できません。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先：

国立がん研究センター東病院 大腸外科

NEXT 医療機器開発センター 手術機器開発室

〒277-8577 千葉県柏市柏の葉 6-5-1

TEL/FAX：04-7130-0199 内線：91648 /91745

E-mail：maito@east.ncc.go.jp /ntakeshi@east.ncc.go.jp

研究代表者：伊藤 雅昭 /研究事務局：竹下 修由

研究責任者：

国立がん研究センター東病院 大腸外科 科長

NEXT医療機器開発センター 手術機器開発室

内視鏡外科手術における AI 自動技術評価システムの構築

伊藤 雅昭

研究代表者：

国立がん研究センター東病院 大腸外科 科長

NEXT医療機器開発センター 手術機器開発室

伊藤 雅昭

研究への利用を拒否する場合の連絡先：

日本内視鏡外科学会事務局

〒100-0013 東京都千代田区霞が関 1-4-2 大同生命霞が関ビル日本コンベンションサービス株式会社内

TEL : 03-3503-5917 FAX : 03-3508-1257

TEL : 03-3503-5917 FAX : 03-3508-1257

E-mail : info-jses@convention.co.jp

公開文書

第 1.0 版 2020 年 3 月 3 日

第 2.0 版 2023 年 11 月 14 日